

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	免疫チェックポイント阻害薬に放射線治療が併用された症例における安 全性に関する研究
	研究目的	近年、がん治療は免疫チェックポイント阻害薬（Immune checkpoint inhibitors：ICI）の登場により、大きく変容しつつある。放射線治療は従来、局所治療とされてきたが、ICIと併用することにより、照射した局所のみならず、全身で免疫応答を誘導することにより、全身療法となりうる可能性が期待されている。ICIで完全奏功が得られる頻度は高くなく、ICIの効果が不良な症例（特にPD症例）では、結果として放射線治療が併用（追加）される症例が増加すると考えられる。 ICIの副作用は、下痢、間質性肺炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、重症筋無力症等がある。放射線治療との併用時については、明らかな増加は無いとのことであったが、ICIと放射線療法を併用した実臨床での報告はまだ少なく、当施設で治療がおこなわれた症例について、その有害事象等について検討することが必要と考え、本研究を行うこととした。
	研究対象者	2017年1月1日から2021年12月31日までに当施設で放射線治療が施行された患者のうち、放射線治療の前後3か月以内にICI投与されている患者を対象とする。
	研究期間	西暦 2021年3月15日～西暦 2023年7月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他（放射線治療計画デー <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 夕）
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	吉田 大作
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	とくに共同研究機関はありません。